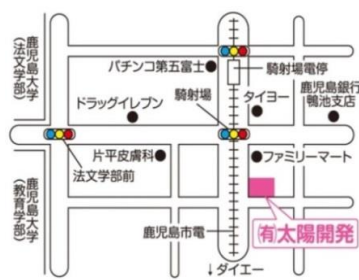


SUNSHINE



第 85号 2015年 6月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市鴨池2丁目1-12 TEL.099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発 検索 クリック!!



賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

今回ご紹介させて頂きますマンションは『荒田八幡』電停から徒歩4分のみずほ通り沿いにあります、【茜ハイツ】です。1980年に新築で建てられ、約35年経っていますが、数年前に、内装をフルリフォームされて、今流行りの間取りや内装に仕上がっているお部屋です!
 もちろん、水回りもきれいな(*^_^*)各部屋に収納があって、兄弟や姉妹、友人同士でルームシェアとしてお住まいになるもよし!新婚さんや小さいお子さんがいらっしゃるファミリー世帯でも、全部屋洋室となっていますので、使い勝手のいい間取りです♪キッチンには、火(ガス)を使わず、光熱費も経済的な、"IHコンロ"を備え付けてあります☆それ以外にも、リビングと各部屋にそれぞれ、エアコンと照明も完備!
 今は、『契約時にかかる初期費用』や、『最初にかかる家具家電の購入費用を抑えたい』、とお部屋探しをされるお客様が増加している中で、茜ハイツの様に"IHコンロ" "エアコン" "照明"が設備として備わっているのは、とても嬉しいですね!
 立地としても、スーパーとコンビニ、郵便局や銀行など、全て徒歩圏内!おいしいパン屋さんも近いです♪騎射場の飲み屋街までも歩いて行けるので、お酒好きな方にはたまりません!!
 今後は、共用部分に照明を追加で取り付けたり、壁の塗装を塗り替えたりと、入居者様の為に、いつも尽力して下さるオーナーさんです。



キッチン



IHコンロ

(魚焼きグリル付)



洗面脱衣所



居室

あかね 茜ハイツ



リビング



ミャンマー事情

最近新聞等でミャンマー西部で暮らす、イスラム教の少数民族である、ロヒンギャ族が仏教徒のラカイン族と、宗教・民族対立の末、難民化し密航船で近隣諸国への不法入国、海上漂流が国際問題として取り上げられています。(ロヒンギャ族はミャンマー政府より国籍が剥奪され現在無国籍である)
 今回、ミャンマーのロヒンギャ族を取り上げたのは、私の息子が一年程前よりミャンマーの旧都ヤンゴンで仕事をしている関係で、どうしてもミャンマーの国情が気になるからです。ミャンマーは以前ビルマという国名でしたが、1989年軍事政権の下、国名を「ミャンマー」と改めました。皆さんも子供の時に読んだ『ビルマの堅琴』の「オーイ、ミズミン、イッシュニ、ニッポンヘカエロウ」でビルマのほうがなじみ深いのではないでしょうか。ミャンマーは、多民族国家で人口の6割をビルマ族が占め、他に100以上の少数民族が暮らしています。

息子が住むヤンゴンは犯罪が少なく、時間がゆっくり流れる、イギリス統治下だった1900年初頭の建物が数多く残る旧都です。『月と六ペンス』で有名なイギリスの小説家サマセット・モームが長期滞在した、ヤンゴン川岸辺に建つザ・ストラッドホテルはイギリス統治時代を感じさせる雰囲気が残ったホテルだそうです。

ヤンゴンでは生ビールが日本円で約70円で飲めるそうですが、外国人向けの賃貸住宅が非常に高く2LDKの家賃が月々30万~40万円と高額で、家賃一年分を一括で支払わなければならない、一回の家賃支払いが400万円以上になることが多いそうです。高額紙幣が流通していない為(日本円で500円位が高額紙幣として流通)1年分の家賃を支払う為に、紙幣を大きな米袋に入れて支払いに行くとのこと。不動産の賃貸契約も3時間位かかり、そのほとんどが紙幣を数える時間に費やされるそうです。ヤンゴンの人口は約600万人ですが、娯楽はカラオケ、ビリヤードくらいしか無く、日本駐在員は約1500人位ですが、そのことがかえって日本人コミュニティを活発にし、色々な職業の人と知り合う機会を生んでいます。ちなみに、息子はミャンマー日本人会の最年少役員だそうです。息子は昔、高校球児ということで、ミャンマー駐在員で構成される野球チームのメンバーに入り、今は、タイで開催される東南アジア野球大会(タイ国代表チーム、タイ日本人駐在員チーム、カンボジア日本駐在員チーム、ミャンマー日本人駐在員チーム等)へ出場することです。

6月22日(月)22:00、BS、TV、Tokyo『未来世紀ジパング』で放送される『もはや無視できない、アジア驚異の成長国ミャンマーSP』の中で日本駐在員の野球チームが取材されたということなので、私そっくりの顔の息子がTVに出演するかもしれません。もしよかったですらTVを御覧下さい。

息子が国外で生活したいという夢を芽生えさせた大きな要因は沢木耕太郎著「深夜特急」だと思っています。現在、親として、将来を見据えた場合



少数民族・首長族



ゴールデン・ロック 今にも落ちそうな岩



バガンの遺跡 世界三大仏教遺跡

かけだれからあげ カラキチ!



店長 中間 光明 様

鹿児島市鴨池1丁目13-5

◆営業時間◆

11:30 ~ 14:30

今回ご紹介させて頂くお店は、弊社から歩いて2分の距離にある、今年の4月に鴨池1丁目にオープンした『カラキチ!』さんです。

先日、弊社の売買担当の新人営業2人が無事に『初契約』、『初お引渡し』が終了したお祝いに行ってきました。店長の中間様は今まで飲食店に勤務していたものの、からあげが好きすぎて、「からあげの店を出そう!!」と思い、今回念願の出店に至りました。店内は座敷、テーブル合わせで全28席です。私たちが食事をする時にも、若いカップルやお子様連れのご家族など、たくさんのお客様がいてとても賑わっていました。店長のオススメは『骨付鶏』と『ラクレット』!!骨付鶏はみなさんご存知のゴテ焼きです!もうひとつのオススメメニューのラクレットと聞いて『あ~アれね!!』と思った方はオシャレさんですね(笑)私はチーズフォンデュだと思っていたら、全然違ったみたい。薄い鉄板にチーズを乗せて、下から固形燃料で温めつつ、それをパンやソーセージ、温野菜にかけていただくという物でした。しかも、チーズフォンデュとの違いはラクレットはチーズ100%だそうです。弊社営業の神髄も絶賛です!!
 また、からきちは夜の居酒屋だけではなく、ランチ、お弁当、店内ではパンやクッキーも販売しているので是非、ご賞味下さい♪
 最後に店長の中間様より一言!!

当店はからあげはもちろんですが、からあげ以外もスゴく美味しく、スゴく面白いんです!是非、お店にお越しいただいてお確かめ下さい!もちろんからあげのお持帰りもしてますからね~これからの暑い日には、からあげ&生ビール・ハイボール・サワー...たまりませんな~♪
 (守屋)



からあげ(おびきおれ)



温野菜・パンセット



とりのゴテ焼き

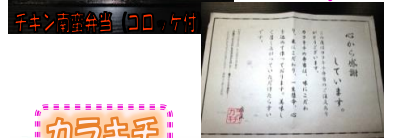


チキン南蛮

ランチ&お弁当デリバリー&居酒屋!
 お子様連れOK♪離乳食持ち込みOK♪
 飲み放題メニュー・ランチメニューあり♪
 ■詳細は、お店のスタッフまでお尋ね下さい



チキン南蛮弁当(200円)ケチ



今月の一冊 No.84

ライ麦畑でつかまえて J.D.サリンジャー The Catcher in the Rye



野崎隆 野崎隆

野崎隆

1964年『The Catcher in the Rye』を『ライ麦畑でつかまえて』の題名で邦訳。当時の深夜放送からヒントを得て、若い世代の語法と感覚に迫った訳文で当時の読書界に反響を呼んだ。主人公ホールデン・コールフィールド少年が一方的に語る言葉つきは50年代のアメリカのティーンエイジャーの口調的確に捕えたものとして賞賛されたが、その和訳は至難の業だったと野崎氏自身が

大戦後間もなくのアメリカを舞台に、主人公のホールデン・コールフィールドが3校目にあたるホーディングスクールを成績不振で退学させられたことをきっかけに寮を飛び出し、実家に帰るまでニューヨークを放浪する3日間の話。自身の落ちこぼれ意識や疎外感に苛まれる主人公が妹に問い詰められて語った夢: <自分は広いライ麦畑で遊んでいる子供たちが、気づかずに崖っぷちから落ちそうになったときに、捕まえてあげるようなそんな人間になりたい...> が作品の主題になっている。このクライマックスシーンを導くために主人公の彷徨のストーリーが積み重ねられている。(Wikipediaより)

映画でも小説でもタイトルだけは知っていても、実際は触れたこと

作品も多いものです。『ライ麦畑でつかまえて』もまさにそのひとつでした。しかもタイトルの何だかロマンチック響きに感かせ、勝手に淡いラブストーリーだと思いついていました。いやー、全く違った!二冊を読み終えた今となっては、読み応えのある心に響く作品だと分かるのですが、最初に読んだ時は「いつになったら何か出来事が起こるのかしら?」と思いながら読み進み、半分位読み終えたところで、「もしかしてこのまま特になにも起きないのね!」とやっと気付いた鈍感な私です。今回は、はじめての試みとして二つの訳本をご紹介してみました。その違いについて語る程読み込んでいないし、頭も回らないのですが、印象としては、野崎氏訳がやんちゃな感じ、村上氏訳がやや大人な感じ、と言ったところでしょうか。

ジェローム・デイヴィッド・サリンジャー 生まれも育ちもニューヨーク市で、いかにも都会的ななほにかみとソフィステイクーションに彩られた繊細巧緻な仕上げが作品の魅力のひとつである。『エズミに捧ぐ』は1950年を代表する秀作のひとつとして激賞された。16才の少年を主人公にした現代のピカレスク小説ともいべき長編『ライ麦畑でつかまえて』は同世代の若者の絶大な人気を呼び、一躍作者を彼らのアイドルに祭り上げた感がある。(マイペディアより)



村上春樹 村上春樹

村上春樹

2003年、野崎氏と同じく白水社から新訳『The Catcher in the Rye』を発表。これを皮切りに『グレート・ギャツビー』『ティファニーで朝食を』等、多くの作品を翻訳、2014年にはサリンジャーの『ファニー&スーイ』も手掛ける。小説の執筆と翻訳を交互に行う仕事のスタイルを「チョコレートと塩せんべい」という

村上春樹翻訳がりで次回は「グレート・ギャツビー」を予定しています!